

# MODEL-4811 S&DL mini データトラッパー取扱説明書



ダイレクトリード-オプティカルアダプタ接続時の例

S&DL mini データトラッパーを使用することにより、S&DL mini に入っているデータを直接 USB メモリー (USB2.0/3.0) に転送可能になります。

S&DL mini の測定を止めることなく、S&DL mini のメモリーに入っている全てのデータをコピーすることができます。

また、この転送によって S&DL mini のメモリーに入っているデータが削除されることはありません。

データは .xle 形式\*のファイルとして USB メモリーに保存され、専用の S&DL mini ソフトウェア (Ver.3.2.0 以降)\*\*で開くことができます。(S&DL mini ソフトウェアで、.oyo 形式のファイルでの保存も可能です。)

\* .xle は、データトラッパーのフォーマットです。

\*\* OYO ホームページで S&DL mini ソフトウェアをダウンロードしてください。Ver.3.2.0 以前のソフトウェアでは読み込めませんので注意してください。

## データトラッパーの電池

データトラッパーには、9V のアルカリ電池を使用してください。

- 【注意】
- 付属の電池は動作テスト用です。ご使用時は、新たにご用意ください。
  - パナソニック社製、東芝製の 9V アルカリ電池推奨。

### 電池の交換手順

1. データトラッパー上部にあるキャップを回し、開いてください。



2. 古い電池を取り外してください。
3. 電池のプラス側とマイナス側の向きに注意して新しい電池を入れてください。



新しい電池では、概ね 50 回データ回収出来ます。(40,000 データ×50 回)

4. キャップを元に戻し、しっかりと締めつけてください。

## 操作手順

- 以下のいずれかの方法で S&DL mini とデータトラッパーを接続してください。
  - ダイレクトリード・オプティカルアダプター (O4811-9102) を使用して接続する。
  - 設置されている S&DL mini に接続されているケーブルキット (オプション) を使用して接続する。



- 【注意】
- ・カップリング部だけを回してください。ボディは、絶対に回さないでください。
  - ・S&DL mini をデータトラッパーに直接接続しないでください。

- USB メモリーをデータトラッパーに接続してください。

- 【注意】
- ・指紋認証機能等セキュリティ機能のあるものは使用できません。また、使用する USB メモリーはウイルススキャンを実施してから使用するようになしてください。動作確認済みの USB メモリーは次の通りです。

メーカー名	型 式	容 量
アイ・オー・データ	U3-STD16G	16GB
グリーンハウス	GH-UF3LA64G	64GB
バッファロー	RUF3-C 16GA	16GB

- ・使用する USB メモリーには、他の製品のファイルやデータを入れないでください。

- データトラッパーを始動させるため、本体にある押しボタンを 2 秒ほど長押ししてください。その後、データトラッパーの表示ランプが点灯し、セルフテストを開始します。
- データは .xle 形式のファイルとして自動的に USB メモリーに転送します。転送には、フルダウンロード (40,000 データ) で約 10 分かかります。
- 緑色が点灯したらデータ転送が完了となりますので USB メモリーを抜き、その後 S&DL mini を外してください。

- 【注意】 データ転送中に赤色が点灯した場合は、USB メモリーの容量が不足していることを示し、データトラッパーは自動的に停止します。メモリーの空き容量を確認し、始めから操作を行ってください。

また、USB メモリーへの収録後は、正しく収録されていることを確認して下さい。

- データ転送が完了した 5 秒後にデータトラッパーは自動的に停止します。手動で停止させる時は、押しボタンを 2 秒間長押ししてください。

## データトラッパー表示ランプ



押しボタンを2秒ほど長押しすると、データトラッパーが始動し、セルフテストを開始します。

- 緑色に点滅 : 全て問題ないことを示しています。
- 赤色に点滅 : 電池残量が少ないことを示しています。  
⇒ 電池を交換してください。
- 黄色に点滅 : S&DL mini が接続されていないことを示しています。  
⇒ S&DL mini を接続してください。
- 赤紫色に点滅 : USB メモリーが接続されていないことを示しています。  
⇒ USB メモリーを接続してください。

何も操作しない状態では、赤色、黄色、赤紫色の点滅が約1分間続いた後、赤色が5秒間点灯し、停止します。

S&DL mini と USB メモリーが適切に接続されると、

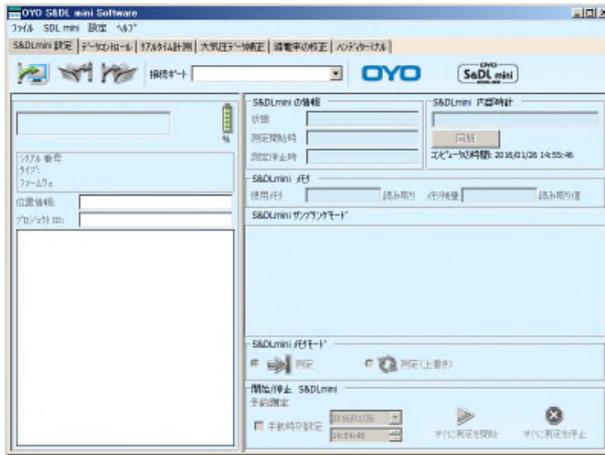
- 青色に点滅 : データ転送中であることを示しています。  
【注意】 青色に点滅中は、USB メモリーを抜かないでください。
- 緑色に点灯 : データ転送が完了したことを示しています。
- 赤色に点灯 : データ転送が正常に行えないことを示しています。  
(全データを転送するには USB メモリーのメモリー容量が不足していることを示しています。)  
⇒ 空き容量が十分ある USB メモリーを接続して再度、操作してください。

**OYO 応用地質株式会社** 計測システム事業部

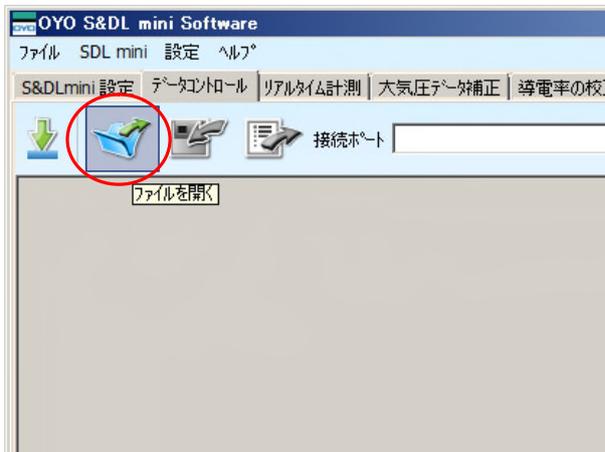
〒305-0841 茨城県つくば市御幸が丘 43 番地 TEL. 029-851-5078 FAX. 029-851-7290

# S&DL mini ソフトウェアでのファイルの開き方

## 1. データトラッパーで回収したデータファイルの開き方



1) S&DL mini のショートカット  をダブルクリックしてください。左の画面を表示します。

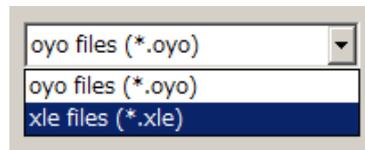


2) 「データコントロールウィンドウ」の「ファイルを開く」を選択してください。  
(メニューから「ファイル」→「開く」の方法でも同様です。)



3) データの入ったフォルダを選択してください。

4) 「xle files(\*.xle)」を選択してください。



5) 読み込むファイルを選択してください。



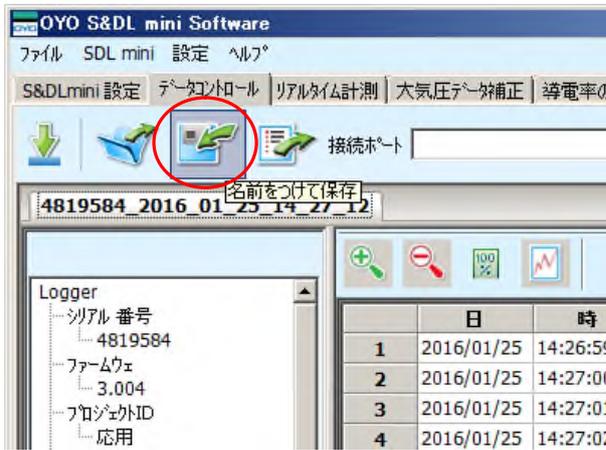
6) データを表示します。

【注意】

S&DL mini ソフトウェア Ver.3.2.0 以前のソフトで、設定されたもので、プロジェクトID、位置情報に使用している文字によっては、エラーが表示されデータが読み込めない場合があります。その場合は、メモ帳で開いて、ファイル形式を「UTF-8」で上書き保存し、再度ファイルを開いてください。

詳しくは、「4. UTF-8 形式への変更方法」を参照してください。

## 2. 「OYO 形式」でのファイルの保存方法

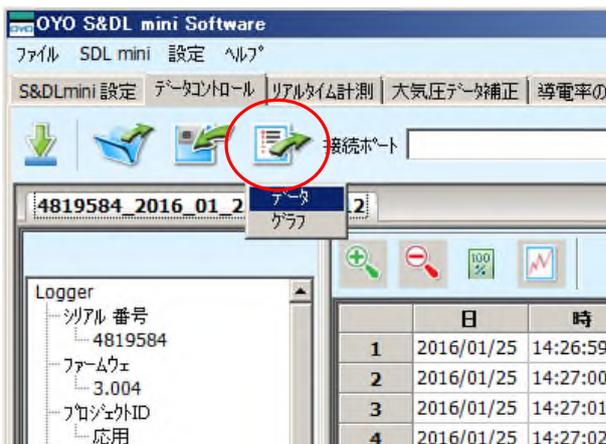


- 1) 「データコントロールウィンドウ」の「名前をつけて保存」を選択してください。  
(メニューの「ファイル」→「名前を付けて保存」の方法でも同様です。)



- 2) ファイルを保存する画面が表示されますので、ファイル名を入力して保存してください。

## 3. 「CSV 形式」でのファイルの保存方法



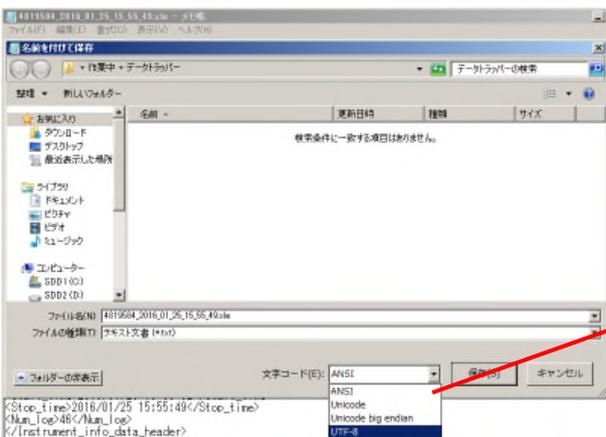
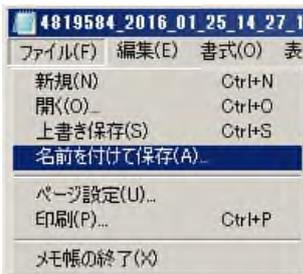
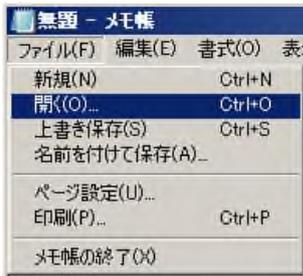
- 1) 「データコントロールウィンドウ」の「データを転送」を選択してください。
- 2) 次に「データ」を選択してください。  
(メニューから「ファイル」→「ファイルを出力」→「Data」の方法でも同様です。)



- 3) ファイルを保存する画面が表示されますので、ファイル名を入力して保存してください。

#### 4. UTF-8 形式への変更方法

エラーが表示されデータを読み込めない場合は、以下の手順で、ファイル形式を UTF-8 に変更してください。



- 1)  **メモ帳** を開いてください。
- 2) メニューから「ファイル」→「開く」を選択してください。
- 3) ファイルの選択画面が表示されますので、データの入っているフォルダを選択してください。
- 4) ファイルタイプを「すべてのファイル (\*.\*)」にしてください。
- 5) ファイルが表示されますので、開くファイルを選択してください。
- 6) ファイルが開きましたら次に、メニューから「ファイル」→「名前を付けて保存」を選択してください。
- 7) ファイルを保存する画面が表示されますので、文字コード「UTF-8」を選択して保存してください。

